あなたと議会をむすぶ
155号
平成29年2月1日

しばた議会だより

（メタセコイアの奇跡！光り輝け槻木駅）

光り見上げる輝く瞳

■12月会議「教育施設に大型補正」……2～5
■11月会議　契約案件「町道富沢16号線道路改良工事」ほか……5
■１月会議　白石川堤一目千本桜ブランド化事業など増額補正……6
■本会議出欠状況・議案などの審議結果……6
■ここが聞きたい　15議員が一般質問……7～14
■常任委員会リポート……15
■常任委員会28年度活動報告……16～17
■追跡あれはどうなった「健康づくりポイント事業」……18～19
■あなたの一言（佐々木　綾子さん）……20

発行／宮城県柴田町議会　　編集／柴田町議会広報常任委員会

型補正

学校トイレ改修工事など

補正額 7億8,124万円増額

一般会計予算額 130億1,674万円

12月会議は、12月5日から8日までの日程で開催されました。

今回の会議では、農業委員会委員の任命に係る人事案件9件、条例改正8件のほか、学校施設環境改善交付金などの一般会計補正予算、特別会計補正予算、意見書案4件、請願1件について審議した結果、原案のとおり可決しました。一般質問は15人の議員が行い、項目は103件で多岐にわたる内容でした。

教育費大幅増額

今回の補正では、一般会計で7億8千124万円を追加し、予算総額は130億1千674万円となりました。

主な事業としては、国の第2次補正予算に対応して実施する道路整備、町営住宅整備、学校施設整備などです。特に国から事業内定を受け、教育費の補正額が5億1千218万円と大幅な増額となっています。事業内容では、船岡小学校校舎及び体育館の大規模改造工事、槻木小学校と船迫小学校の暖房機の更新などを追加します。

補正予算の内容

学校教育施設整備

東船岡小学校と船迫中学校のトイレ改修工事。槻木小学校と船迫小学校の耐震補強工事。船岡小学校及び体育館の大規模改造工事など。

公営住宅整備

北船岡町営住宅駐車場整備工事及び北船岡町営住宅3号棟北側通路整備工事など。

道路整備

町道槻木169号線ほか44路線道路補修工事及び町道富沢16号線道路改良工事。

校舎・体育館の大規模改造が始まる船岡小学校

トイレ改修が行われる東船岡小学校

耐震補強工事が行われる槻木小学校

平成28年度
12月会議

教育施設に大

船岡小学校大規模改造工事、東船岡小学校・船迫中

12月会議の主な質疑

学校施設の耐震化率100％

質疑 槻木小学校と船迫小学校の耐震化工事が予算化されたが、町内の学校施設の耐震化率は。

答弁 今回の耐震化工事が完了後は、学校施設の耐震化率は100％の状況になる。

屋上防水の改修など

質疑 船岡小学校大規模改造工事の内容は。

答弁 29年、30年の2カ年の事業。主な工事は、屋上防水の改修や外壁改修、照明器具変更、給排水改修。体育館は、屋根の塗装と外壁の改修を実施する。体育館の床工事は今回の予算には入っていない。

質疑 保護者への周知方法は。

答弁 計画が決まり次第、学校を通じ保護者に周知徹底を図っていく。

暖房設備は来年度実施

質疑 槻木小学校と船迫小学校の暖房設備工事を今年度に施工できないか。

答弁 工事が全館に及ぶため、今年度は施工できない。来年度の冬に間に合うよう進める。

槻木駅雨どいを延長

質疑 槻木駅コミュニティプラザの管理事務修繕費の詳細は。

答弁 槻木駅入口の場所が、強い雨で雨漏りが発生している。その雨漏り対策として雨どいを延長する。

公民館駐車場に外灯

質疑 船岡公民館の工事請負費の詳細を。

答弁 船岡公民館の西側駐車場に明かりがなく、夜間の駐車場利用者の不安解消と安全確保のため、外灯2基を設置する。

ドクターヘリ離着陸場

質疑 ドクターヘリの離着陸の場所は。

答弁 船岡小学校、船迫中学校、槻木小学校、東船岡小学校、西住小学校、船岡中学校、阿武隈川運動場、総合運動場、太陽の村、農村環境改善センター、並松運動場の11カ所が選定された。

ふるさと納税

質疑 ふるさと応援寄附金は11月末でいくらになっているか。

答弁 約3千900万円。

ドクターヘリ離着陸場（阿武隈川運動場）

一般会計補正予算

補正予算の主な事業	補正予算額
船岡小学校大規模改造事業	1億9,378万円
学校施設大規模改造事業	2億3,300万円
町営住宅建設事業	2,809万円
道路新設改良事業	1億2,641万円
道路補修事業	5,081万円
ドクターヘリ離着陸場看板設置工事	177万円
子ども医療費助成システム改修委託料	162万円

平成28年度補正予算（12月会議）

会計区分		補正額	補正後
一般会計		7億8,124万円	130億1,674万円
特別会計	国民健康保険事業	△5,565万円	47億1,898万円
	公共下水道事業	3億4,164万円	30億4,956万円
	介護保険	1,000万円	29億7,217万円
	後期高齢者医療	△285万円	3億5,966万円

12月会議

子ども医療費助成の所得制限撤廃・町職員の給与改正

子ども医療費助成は町内全ての小中学生に

県の乳幼児医療費助成の改正を受け、柴田町でも平成29年4月から医療費の助成を拡大します。

制度概要

○助成対象者
柴田町に住む中学校卒業までの全児童、生徒

○助成の範囲
医療機関での自己負担額。（保険対象外を除く）

○所得制限あり（両親のどちらかの所得）

変更

○所得制限なし

町職員給与の改正

人事院勧告と宮城県人事委員会の勧告を踏まえ、職員の月例給並びに勤勉手当を引き上げ、あわせて扶養手当を見直します。

仕事に励む役場職員

期末手当・勤勉手当（4.2月→4.3月分）

		6月支給	12月支給
28年度	期末手当	1.225月分	1.375月分
	勤勉手当	0.8月分	0.9月分(+0.1)
29年度	期末手当	1.225月分	1.375月分
	勤勉手当	0.85月分	0.85月分

扶養手当額

（円）

	28年度	29年度	30年度
配偶者	13,000	10,000	6,500
子	6,500	8,000	10,000
その他扶養家族	6,500	6,500	6,500

意見書の審議

地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書

意見書の趣旨

地方議会の責任が重くなってきているが、議員のなり手不足と住民の関心の低下が大きな問題になっている。人材確保に繋がるよう、地方議会議員の厚生年金制度加入のための法整備を要望する。

さまざまな意見が出され、討論を行いました。採決の結果、意見書は賛成多数で可決されました。

反対意見

広沢 真 議員

町村議長会からの陳情だが、厚生年金は雇用者と被雇用者で半分ずつ負担している。地方議員と自治体は雇用関係なのか、また常勤とはいえない地方議員が加入の要件を満たすのか疑問である。

白内恵美子 議員

全国的に政務活動費の不正使用がある中で、自治体の負担が増える厚生年金加入は、国民の理解を得るのが難しい状況である。地方議会に対する国民の信頼を回復した後に、取組むべきと考える。

賛成意見

佐々木守 議員

住民の活発な議会活動の求めに応えるため、若い方々が町議会でも安心して活躍できる場をつくり、地方の活性化を託すべきである。

水戸義裕 議員

以前の議員年金の制度とは異なり、常識的な対応。政務活動費の問題で議員への視線は厳しいが、今のままでは子育て世代は議員にはなれない。若者にも政治の世界で活躍してほしいので賛成。

その他の意見書（いずれも全会一致で可決）

★最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書

★「高額療養費」「後齢高齢者の窓口負担」等患者負担見直しの慎重審議と現行制度の継続を求める意見書

★有害鳥獣（イノシシ）駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書

請願

子どもの甲状腺エコー検査を希望する町民に対し、町が年1～2回程度、継続的に検査を実施することを求める請願

請願の趣旨

東京電力福島第1原発事故のあと、民間検査機関が放射性物質の影響が出やすい子どもの甲状腺検査をこれまで4回行いましたが、毎回予定数を上回る申し込みがあり、募集を締め切る状態になっています。総務省は平成27年11月の北茨城市議会の質問に、検査は「子どもの生活支援」に該当し、「放射線濃度に関係なく、特定被災地方公共団体であれば補助対象になる」という回答をしました。柴田町は平成23年に特定被災地方公共団体に指定されています。

以上のことから、検査の実施を町に求めます。

この請願は質疑と答弁のあと採決され、賛成多数で可決。議会は検査の実施を求めました。

新・農業委員会委員が決まる。

法律の改正で、農業委員会委員はこれまでの公選制、推薦制から議会の同意に基づき町長が任命する制度に変わりました。12月7日の会議で協議を行い、人事に同意しました。

（任期：平成29年3月1日から3年）

大宮　邦夫氏（大字富沢字日向）

猪又　秀夫氏（大字成田字坂ノ下）

加藤　一郎氏（大字上川名字舘山）

岩間　良隆氏（大字船迫字千代川）

加藤　純也氏（西船迫二丁目）

佐藤　健氏（大字入間田字岩崎）

根元　俊一氏（大字中名生字宮前）

加茂　富枝氏（大字下名生字町屋敷）

関　哲也氏（大字本船迫字下町）

平成28年
11月会議
11月14日開催

町道富沢16号線道路改良工事請負契約
五間堀川の橋りょう改修
ICT機器などの整備事業（財産の取得）
町内の全小中学校に導入

町道富沢16号線道路改良工事　五間堀川・橋の改修

国の「防災・安全社会資本整備交付金事業」を活用して、平成25年度から行っている工事で、今回は槻木五間堀川に架かる橋を改修します。

工事費は7千992万円で、平成29年3月17日の完成予定です。

赤丸が今回の工事箇所

国の補助で全校に電子黒板ユニット・プロジェクターなどを導入

「地域未来塾に係る学習支援を促進するために必要なICT機器等の整備事業」により、町内の小中学校の放課後学習室などで使う機器を購入します。取得金額は2千787万円です。国の補正予算で認められたもので、購入機器は左表のとおりです。

これらの機器は放課後学習室のほか一般の授業でも使用されます。

機　器	1校あたりの数
タブレットパソコン	10台
百科事典ソフト	1式
プロジェクター	1台
プリンター	1台
電子黒板ユニット	1台
書画カメラ	1台
アクセスポイント設置	1カ所

ICTの使用が予定される放課後学習室

1月会議

白石川堤一目千本桜ブランド化事業など

1千457万円増額補正

1月会議が1月17日に開催され、条例の一部改正1件、一般会計補正予算1件が提案され、全会一致で可決されました。

白石川堤一目千本桜ブランド化事業　大河原町と連携

国の東北観光復興対策交付金を活用し、「白石川堤一目千本桜」のブランド化を図り、国内外からの観光客の誘客力を高めるために、大河原町と連携して効果的にプロモーションなど展開する事業です。本町の予算額は1千457万円となります。

質疑 **連携体制は。**

答弁 大河原町と観光連携協議会を立ち上げて、連携を図る。

白石川堤親水公園

本会議出欠状況・議案などの審議結果

●本会議の出欠状況一覧

区分		主な内容	月日	出席者数（人）	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	斎藤 義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部 俊三	佐々木 守	広沢 真	有賀 光子	水戸 義裕	舟山 彰	白内恵美子	我妻 弘国	髙橋たい子	加藤 克明
（平成28年度）11月会議	本会議	契約案件、財産取得	11.14	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
（平成28年度）12月会議	本会議	町政報告、一般質問	12.5	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	12.6	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問、人事案件	12.7	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		条例、補正予算、意見書	12.8	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
（平成28年度）1月会議	本会議	条例、補正予算	1.17	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表します。

●議案などの審議結果

○賛成と反対（賛成しない）に分かれたもの

区分	件名	賛成（人）	反対（人）	議決結果	平間 幸弘	桜場 政行	吉田 和夫	秋本 好則	斎藤 義勝	平間奈緒美	佐々木裕子	安部 俊三	佐々木 守	広沢 真	有賀 光子	水戸 義裕	舟山 彰	白内恵美子	我妻 弘国	髙橋たい子	加藤 克明
（平成28年度）12月会議	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	13	3	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	否	○	○	○	否	否	○	議
	子どもの甲状腺エコー検査を希望する町民に対し、町が年1～2回程度、継続的に検査を実施することを求める請願	14	2	採択	否	○	○	○	○	○	○	否	○	○	○	○	○	○	○	○	議

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表します。
※「議」は表決時に議長のため、表決に参加していないことを表します。

○全員が賛成したもの

区分	件名
（平成28年度）11月会議	平成28年度町道富沢16号線道路改良工事請負契約について
	財産の取得について
（平成28年度）12月会議	農業委員会委員の任命（9件）
	柴田町母子生活支援施設条例を廃止する条例
	柴田町自治功労者優遇条例の一部を改正する条例
	柴田町職員の給与に関する条例及び柴田町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例
	柴田町町税条例の一部を改正する条例
	柴田町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
	柴田町子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例
	柴田町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
	柴田町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
	平成28年度柴田町一般会計補正予算
	平成28年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算
	平成28年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算
	平成28年度柴田町介護保険特別会計補正予算
	平成28年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算
	平成28年度柴田町水道事業会計補正予算
	最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書
	「高額療養費」「後期高齢者の窓口負担」等患者負担見直しの慎重審議と現行制度の継続を求める意見書
	有害鳥獣（イノシシ）駆除対策に対する補助の増額及び広域連携の制度化を求める意見書
（平成28年度）1月会議	職員の育児休業等に関する条例及び職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
	平成28年度柴田町一般会計補正予算

平間奈緒美 議員

Q 図書館司書に正規職員を

A 30年度の採用に向けて準備をしていく

柴田町図書館を運営していく上で、人事異動することのない専門職として、図書館司書の採用を検討していくべきではないか。

問 **今後の※任期付職員採用の見通しは。**

町長 今年度は、26年度採用の任期付司書2人が3年間の任期を終了することから、採用試験を実施した。2人の募集に対し、1人多い3人の採用を決定している。

問 **専門職である図書館司書を定員適正化計画の中に含めて正規職員に入れ、1人採用していく考えは。**

町長 図書館を運営する上で、必要な専門職としての司書を期限のない正規職員として採用していく。

問 **正規職員となる図書館司書の採用の予定は。**

総務課長 30年度の採用に向けて準備をしていく。専門性の高い試験になるので、どのような試験で判断すべきか、また、図書館に求められている声もきいて採用方法を検討していく。

問 **各学校に配置している図書館司書と学校図書館との連携は。**

教育総務課長 学年に応じた教材や図書の重要度は学習の現場において必要である。学校現場に応じて司書と協力しながら有効な手段を講じていく。

※ **任期付職員**＝一定の業務に従事させる必要がある場合、3年を越えない範囲で任期を限定し採用される職員。

柴田町図書館で働く図書館司書

吉田和夫 議員

Q 各種予防接種の推進は

A 接種率向上に努める

問 **高齢者の肺炎球菌ワクチンの接種率を上げて、健康寿命の延伸を図るべきでは。**

健康推進課長 コール・リコールを、インフルエンザの季節に合わせると接種率が上がると思われるので、注意喚起を1月初めまでには行いたい。

問 **小児のB型肝炎ワクチン接種については、1歳に至るまで3回の接種を完了する必要がある。接種日がやむを得ず1歳を超えた場合の対策は。**

町長 対象期間内に接種が完了するよう、今後も進め方について助言を行う。

問 **季節性インフルエンザ予防接種について、接種時に満65歳にならないと接種資格がない。1月から3月生まれの人も年度として捉え、助成すべきではないか。**

健康推進課長 インフルエンザは、毎年の流行に備えて接種するもの。学年の中には早生まれの人もいるが、次の年には必ず補助が受けられるので理解いただきたい。

問 **職員のインフルエンザ予防接種について、少しでもリスクを回避するため、共済の補助などを活用して接種を勧めてはどうか。**

町長 今年度は、町職員衛生委員会をとおし、産業医による集団の予防接種も実施している。いずれにしても、宮城県市町村職員共済組合の助成制度を活用し実施する。

インフルエンザ予防に有効なワクチン接種

一般質問

舟山　彰 議員

Q 改めて町の空洞化について問う

A 交付金を活用し賑わいづくりに取り組んでいる

問　河北新報の県内の首長を紹介するコーナーで、柴田町商工会の役員の意見として「町外から来た人が町内のお店に来るように周遊策を考えてほしい」と書いてあった。町の各種施策の効果が、町民の実感として出ていないのでは。

町長　増えてきた観光客を呼び込み、商売に生かし、商店街の活性化を図るのは、個々の店の経営努力と手腕次第である。

問　船岡の銀座通りや旧袋町、槻木の商店街、その他町内各地に空き店舗や空き地、また、駐車場になっている所も多く見られる。この実情を町長は本当にどう思っているのか。

町長　空洞化は全国的な問題。町の顔となる商店街の活性化は必要である。その対応策として地方創生推進交付金を活用し、現在、観光まちづくりを通じ、町なかでの賑わいづくりに取り組んでいる。

問　町は、商店街に意欲のある人材育成を図るため、事業を行っているが、その効果はいかに。また、今後もっと有効な策を考えているのか。

町長　残念ながら次々に新規の起業家が出現する状況ではない。今後も一から手とり足とりで教育する人材育成はとらず、活躍の場や実践の場で、チャンスを与え、その中で実力をつけていく方法で人材育成を図っていく。

活用が望まれる商店街の空き地

髙橋たい子 議員

Q 家庭用合併処理浄化槽設置の推進策は

A 補助金制度のホームページ掲載や設置業者に情報を提供

問　家庭用合併処理浄化槽設置の具体的な推進策は。

町長　町の浄化槽設置整備事業補助金に関する情報は、町ホームページへの掲載や設置業者に提供したりしているが十分とは言い難い状況である。

問　28年度から31年度までの合併処理浄化槽設置計画は何基か。

町長　各年度20基で、4年間で80基である。設置基数の増については、追加要望及び地域計画の変更を行いながら進める。

問　前回質問の際、年間30基以上申請すると回答があった。努力不足ではないか。

町民環境課長　5カ年の実質的な平均値がベースになる。

問　26年度に補助金が減額になった理由は。

町民環境課長　県からの補助金カットのため。

問　5人槽を例にとると、町の持ち出しが減額となるが、推進をするということから言えば逆行しているのではないか。

町民環境課長　県の肩代わりをする支出はできない。やむを得ない事情だった。

問　従来の補助金額に、戻す考えはないか。

町民環境課長　財政課と調整していきたい。

問　浄化槽の設置推進を図る手立てとして、保守点検料の補助は考えられないか。

町民環境課長　有効な手段と考える。持続的な財政確保ができれば実施したい。

定期的な保守点検を必要とする合併処理浄化槽

佐々木裕子 議員

Q 観光施策として、公衆無線ＬＡＮの増設が有益では

A 補助金・交付金を活用し増設を進める

問 SNSでの情報発信で連鎖的な広報効果が期待できる。今後、公衆無線LANの増設が有益と思うが、どうか。

町長 観光客が観光地をPRすることで町にもメリットがある。補助金・交付金などを活用し、増設を進める。

問 東北観光復興交付金で大河原町との連携をどのように進めるのか。

商工観光課長 白石川堤の一目千本桜を共通観光テーマに事業を進める。両町が一緒にプロモーションすることで、効果が上ると考える。

問 インバウンドを含めた観光対策で、他市町との動向は。

商工観光課長 仙南地域連携による※日本版DMOの設立や、県南部の4市9町で、インバウンドに向けた協議会などの立ち上げ準備を進めている。

問 船岡城址公園スロープカーの確実な運行体制の構築と、運行時期の拡充を図るべきでは。

町長 設置から20年経過し、安全運行のため、車両減速電動機4台の交換をし、長寿命化を図る。運行期間は延ばしていく。

問 観光リピーターをどのようにしていくか。

町長 歴史的文化的な資産の再整備、山頂付近の園路のバリアフリー化で魅力をアップ。旅行者の視点での広域連携による誘客に取り組む。また、子どもたちの語学体験を兼ねた観光おもてなしを通じて、受け入れ体制の強化を図る。

※ **日本版DMO**＝民間主体で地域を運営する組織をDMOというが、観光に特化したものを日本版DMOという。

観光客が発信した柴田町

安部俊三 議員

Q 全国学力学習状況調査を分析し、学力向上に生かせ

A 自ら学ぶ力の育成に取り組む

全国学力学習状況調査が公表されたが、結果を分析し指導改善に役立てていくことが大切である。

問 学力向上を図るため、県教育委員会からどのような対策が示され進めてきたのか。また、町独自での取り組みは行ったのか。

教育長 県は、学力向上に向けた※5つの提言をし、全ての先生が提言に沿った授業づくりを進めた。本町では、5つの提言を生かしていくよう声がけするとともに、放課後学習室の取り組みによる自ら学ぶ力の育成に努めた。また、仙台大学と連携し、放課後先生の取り組みを進めた。

問 本町のテスト結果はどうだったのか。

教育長 全国と県内との比較では、小学6年生、中学3年生とも、どの教科も同程度であった。

問 町内の小中学校での今回のテスト結果をどう分析しているのか。

教育長 自ら学ぶ力の育成を目指して取り組んでいる放課後学習室の成果の一端があらわれている。授業づくりの改善点としては、授業の初めに狙いを明示し、終わりに書く時間を設けることに重点を置くなどである。

町内の各学校は、重点目標を設定している。重点目標の内容に沿った形で全国及び県と比べてどうなのかを考え、テスト結果を先生方の指導改善や子どもたちの生活改善に生かしていく。

※ **5つの提言**＝(1)子どもへの声がけと傾聴。(2)子どもを褒める、認める。(3)授業では狙いを明示、書く時間を設定。(4)自分の考えをノートに書かせる。(5)家庭学習の時間を確保する。

学び支援員による学習指導で学力向上

Q 老後の貧困増加対策は

佐々木 守 議員

A 対象者の早期発見に努め、適切に対応していく

問 **老後の貧困者対応や、生活相談はどのようにしていくのか。**

町長 高齢者に限らず、生活困窮に対する制度対策として医療、介護、年金といった社会保険、雇用保険が第1。生活保護には至らないが、生活に困窮する人の生活相談や就労支援、住宅支援など包括的な支援が第2。第3は、生活保護制度による支援で、宮城県保健福祉事務所など、関係機関と連携し、適切に対応している。

問 **都会に比べて本町は暮らしやすいので、移住してもらい人口増加につなげるという考えは。**

町長 一般的に高齢者は、医療や介護に係る経費が必要となることを十分留意する必要がある。都市に居住する生活困窮者の本町への積極的な移住策については、慎重に検討しなければならない。

問 **今後、老後の貧困問題が社会問題として捉えられると思うが、どのように対応していくのか。**

町長 特に団塊世代が後期高齢者となる、いわゆる「※25年問題」に合わせて貧困問題への対応も同様に増加が予想される。国や県に対し、貧困問題に係る抜本的な解決策となる年金の充実や日常生活への経済的支援を求めるとともに、町としては、対象者の早期発見に努め、これまでと同様に生活困窮者の支援を適切に行っていく。

※**25年問題**＝西暦2025年は、団塊の世代が75歳を迎え後期高齢者となり、社会保障の財政のバランスが大きく変わる年と考えられている。

地域包括支援センターでの生活相談

秋本好則 議員

Q 町営住宅必要数のビジョンは

A 国の推計方法で機械的に654戸になる

宮城県の調査では、柴田町の百世帯当たりの公営住宅は4・68で全国平均の3・73を上回る。これを前提にして質問する。

問 **北船岡3号棟の倍率は。**

都市建設課長 2～24倍だった。

問 **1戸決定で23戸の人が落選する。全町営住宅で収入超過の戸数は。**

都市建設課長 415戸中27戸が収入超過の世帯になる。

問 **収入超過世帯への対応は。**

都市建設課長 通知をして住宅の明け渡しを促している。

問 **住宅に困窮している人に、公営住宅を提供するための困窮度の点数制は参考にしたのか。**

町長 言うは簡単だが実際の運営は困難だし、町民も納得しない。

問 **広く入居の機会を設けるため、期限付き入居にするという考えは。**

都市建設課長 そうした考えは今のところ持っていない。

問 **借り上げ住宅や家賃補助という手段もあるが検討したことは。**

都市建設課長 検討していない。交付金事業で進める。

問 **メンテナンスは要らないし、国の補助制度もある。性能発注という※PFIの方法もあるが検討できないか。**

都市建設課長 町では検討していない。

問 **どのくらいの町営住宅を持つのかというビジョンが見えない。年収及び町営住宅と一般住宅の比で計算可能だが。**

都市建設課長 国の推計方法で機械的には654戸になる。

※**PFI**＝民間の経営ノウハウや資金を活用し、サービスを提供する新しい公共事業の手法。

完成した北船岡町営住宅３号棟

Q 側溝の掃除・点検をしないのか

水戸義裕 議員

A 悪い所から対応していく

問 町内の道路と側溝に対する整備について、住民から大変多くの要望がある。大雨が降ると道路が冠水。側溝は何十年と整備がされてないのではないか。夏に悪臭が漂い、ボウフラが湧き、蚊が発生。排水滞留の対策をどう考えるか。

町長 排水が滞留している箇所は現在、補修工事や修繕を実施している。今後も状況がひどい所から対応していく。

問 今後、人口減少、高齢化に伴って側溝の重い蓋を持ち上げることが困難になる。どう考えるか。

都市建設課長 都市建設課に相談を。高圧洗浄などに切り替え、きれいにしたいと考えるが、できれば行政区で対応をお願いしたい。

問 高齢化で地区の掃除もできなくなることも考え、改めて聞くが、半年内で掃除や点検をする考えはないか。

都市建設課長 直ちに全路線はできないので、悪い所から随時対応していく。

問 側溝の蓋をする基準は。

都市建設課長 蓋をしなければならないという明確な基準はない。蓋をかけて上を車などが通るとか、通学路は蓋がけをしていくかは状況による。

問 暗渠（あんきょ）タイプ側溝の設置例はないか。

都市建設課長 桜の小径の一部などがある。暗渠形状にすると景観上も良いという特徴を持っている。

蓋もなく排水が滞留している側溝

Q 汚染廃棄物の「混焼」をどのように考えるか

広沢　真 議員

A 問題点はあるが進めざるを得ない

問 宮城県が11月3日の市町村長会議で県内に3万6千トンある放射能汚染廃棄物と一般廃棄物を混ぜて、県内一斉に焼却することを示した。しかし、一般廃棄物の処理の判断は市町村にある。市町村長会議は意見調整、情報提供を目的とした会議であると思うが。

町長 議決機関ではなく参加者の総意で物事を進めていく会議である。

問 会議録を見ると、すでに進めることが前提のように感じるが。

町長 少しでも早く解決したい自治体のことを考えると、進めるべきと考えている首長の意向も受け止めざるを得ない。

問 混焼の安全性についてはどのように説明されているか。

町民環境課長 焼却施設の※バグフィルターが放射能を吸着し、拡散はしないと説明している。

問 県が安全とする根拠は、環境省のガイドラインだが、「環境省のデータは京都大学のPM2・5の除去実験のデータを流用し、安全性が証明されていない」と学者、研究者からも指摘されている。焼却によって放射能が拡散するのでは。

町長 技術的には問題があるかもしれないが、全体の流れが混焼に進んでいるため、反対とはとても言えない状況である。

※　バグフィルター＝集塵装置の一つで、筒状の濾布（ろふ）を用いて空気中の微粒子を除去する装置。

試験運用が始まった仙南クリーンセンター

有賀光子 議員

Q 不妊治療の負担軽減を

A 不妊治療助成事業を29年度から実施

問 28年1月から国の助成制度が拡充され、特定不妊治療の場合、初回に限り助成額を最大30万円に倍増し、新たに男性の不妊治療も15万円まで補助するようになった。

こうした国の助成に加え、独自の助成を行う自治体が増えている。

本町でも不妊治療を受ける夫婦の負担軽減をする助成をしてはどうか。

町長 子どもを望む人の希望をかなえることができるよう、不妊治療を希望する夫婦の負担の軽減を図るため、不妊治療助成事業を29年度から実施していく。

問 不妊治療の体外受精や顕微授精をした人で、子どもを出産する確率はどのくらいか。

健康推進課長 日本の医療機関で実施された顕微授精や体外受精の件数が、39万3千745件で、その結果産まれたのが4万7千322人である。約21人に1人となっている。

問 国の助成の窓口が県となっているが、本町はどこに相談するのか。また、申請件数は年々増えているが、助成申請による県全体の実績、町の実績は。

健康推進課長 仙南保健福祉事務所に申請することになっている。

申請延べ件数は県全体で25年度805件、26年度836件、27年度907件である。

本町は25年度23件、26年度36件、27年度38件となっている。

元気に遊ぶ子どもたち（三名生児童館）

白内恵美子 議員

Q 総合体育館整備に民間の力を

A 従来の手法でやっていく

問 トッコン跡地の活用と資金調達について、従来手法ではない新たな手法を検討したのか。

町長 トッコン跡地は災害時には避難、救護施設として、平常時は健康とスポーツ、文化活動による交流ができる公園として整備したい。現時点では新たな発想での活用や資金調達は検討していない。

問 総合体育館の建設費が仮に30億円かかると、総工費の4～5倍といわれる※1ライフサイクルコストは120億～150億円になる。本町が負担できる額ではない。いかにコストを抑えるか、民間の力を借り検討すべきでは。

町長 規模が小さい単体施設は民間手法のメリットが出ない。体育館単体の施設に民間は手を出さない。

問 11月の公民連携研修会では、自治体が生き残る手段で、※2PPP・PFIを活用すべきであり、自治体は経営的視点が低いと指摘があったが。

町長 全て民間的経営でやるのは無理。行政はコストを度外視してもやるべき施策もある。

問 町長は、10月の町政懇談会で「体育館を建てたら他の事業は何もできない。」と説明した。一つの事業にお金をかけすぎて他の事業が犠牲になってはならない。今後の公共施設整備を考えるため、全職員が先進自治体から学ぶべきでは。

まちづくり政策課長 庁内みんなで新たな手法を学んでいくことが必要だと考える。

※1　ライフサイクルコスト＝設計から運用、修繕、耐用年数後の解体処分まで、建築物の生涯にかかる費用。

※2　PPP＝民間委託、指定管理者制度、PFI、民営化など、民間事業者の資金やノウハウを活用して社会資本を整備し、公共サービスの充実を進めていく手法。

総合体育館建設予定地

一般質問

Q 仙台市内の町内会との交流促進を

平間幸弘 議員

A 町は側面から交流をバックアップ

上川名地区活性化推進組合と、仙台駅東地区町内会との交流会で、「駅東交流センターで朝どり野菜の販売を」との提案があった。

問 **市場規模を考えると、町内の野菜や米の生産者との連携が必要と考える。町として協力はできないか。**

町長 最初に、上川名地区活性化推進組合が交流事業を行い、状況、課題などの報告がほしい。その後に、必要に応じて関係団体、組織との連絡調整や協力体制を整える支援を行っていきたい。

問 **この連携の推進によって、本町で開催される各種イベントへの参加や、来場が期待できると考えるが。**

町長 仙台駅東地区町内会との交流連携強化により、町内会以外の人々にも本町の活動をPRできる。町は側面からバックアップしていく。

問 **インバウンドも大事だが、町として近郊都市との交流を図ることも同時に推進しては。**

町長 近郊都市との交流で、町の魅力を知っていただくことは、海外からのインバウンドと同じと考える。同時に、国内近郊都市などの人々に対しても、本町の魅力を知ってもらうことも大切である。今後も、国内外からの集客力を高め、町を元気にしていきたいと考える。

上川名貝塚を見学する仙台駅東地区町内会

Q 地域包括支援センターの見直しを

桜場政行 議員

A 29年度から船岡地区を１カ所に統合、効率的な運営に

問 **地域包括支援センターの事業も増えることから、情報の共有、仕事の効率化を踏まえ、見直しが必要と思うが。**

町長 町内２つのセンターのうち、昨年度から船岡駅前に柴田町地域包括支援センターの機能の一部を移設し、船迫と船岡駅前で運営してきている。29年度から地域支援事業の業務が多くなるので、効率的な運営を図るため、船岡駅前に統合して運営する。

問 **柴田町地域包括支援センターの業務内容を考えると、現在の職員数で29年度から順調に業務が遂行できるか心配だ。職員の増員はできないか。**

福祉課長 現在、看護師１人、社会福祉士が１人。ケアマネージャーは５人。また、その他に事務員１人を配置している。しかし、地域支援事業の業務が増えてくるということで、新年度から１人増員で資格職の雇用ができるよう進めている。

問 **地域包括支援センター船岡駅前は、手すりが壊れ、壁紙が剥がれている。２階は会議などに利用しているが、エアコンが設置されていない。現状を承知しているか。**

福祉課長 承知している。

問 **エアコンの設置や修繕は。**

福祉課長 １階のエアコンは新しいものに交換と考えている。２階のエアコン設置は、今後の利用形態を含め協議していく。

統合する船岡地区の地域包括支援センター

一般質問

我妻弘国 議員

Q 船迫２号線の道路整備にかかる補償は

A 地権者との信頼関係を構築し早期に解決できるよう努める

問 **船迫２号線工事期間はいつからか。**

町長 昭和58年に始まり平成６年に工事が完了している。

問 **完成を見たが工事中に田の隆起で休耕したために損害補償金を支払うことになったのか。**

町長 傷んだ田の復元整備をしている最中に、田の沈下や隆起が発生し、作付け不可能になり、地権者への引渡しができなかったため。

問 **損害補償を支払った地権者数・支払った補償金総額は。**

町長 平成２年から27年まで補償対象者は26人で総額５千17万476円である。

問 **和解人数は。**

町長 16人である。

問 **和解を拒否している人数と補償金の総額は。**

町長 10人で２千219万６千587円である。

問 **和解を拒否している方々の理由は。**

町長 この12年、単に補償契約のみを行っているのが現状。町の姿勢として、早期に解決しようという誠意を地権者に伝えることができなかったのが一番の要因と思う。

問 **補償金も本町の大事な税金では。今後、どのような解決法を考えるのか。**

町長 地権者と個別に話し合い、信頼関係を構築し、早期に解決できるよう努める。

早期解決が望まれる町道周辺の農地補償

掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

平間奈緒美　議員

問 **保護者の子育てに関するニーズは多様化している。認定こども園の研究を。**

答 利用者の多様な要望に応えるためにも認定こども園の検討を進めていく。

問 **ペーパーレス化に向けてタブレットを導入していく価値があると思う。町長の見解は。**

答 議員が主体となり十分検討した上で、必要との結論が出された場合に検討していく。

吉田和夫　議員

問 **災害の意識を高める「土のうステーション」の設置を。**

答 柴田町が「土のうステーション」の先進地と評価をいただけるよう努力する。

舟山　彰　議員

問 **来年度予算案の編成について、町民の要望で長く保留されている事項の洗い出しは。**

答 さまざまな要因が絡んでいる場合が多く、すぐに解決できないことを理解願う。

問 **町内に増えている空き家、空き地対策を強化せよ**

答 ２つの民間不動産会社がある当町において、行政主導の空き家バンクの必要性は薄い。

髙橋たい子　議員

問 **有害鳥獣対策モデル事業の検証結果を踏まえて、全地区一斉に取り組むべきではないか。**

答 町内各地域で実施できるよう体制を整える。６地区分の電気柵資材の補助を国に要望中。

問 **下水道料金賦課漏れ分の、徴収額と進捗率は。**

答 28年12月末見込みで455万3,876円の徴収額で、50.03％の徴収率である。

佐々木裕子　議員

問 **27年度３月会議で一般質問した、ヘルプカード及びパスケース作成の推進について。**

答 ３段階に分け活用をＰＲ。障がい者の外郭団体へヒアリングをし、方法を具体的に進めたい。

佐々木守　議員

問 **「花のまち柴田」の集客力向上による、稼ぐ力強化事業の内容は。**

答 国の交付金を活用し、歴史文化エリアの整備や、植栽で船岡城址公園の魅力を高めるもの。

水戸義裕　議員

問 **プログラミング教育の必修化が検討されているが、この新教育について教育長の感想を。**

答 既存の教科の中や放課後活動として自主的に学ぶことが望ましい。

有賀光子　議員

問 **子どものときから救命法を学ぶことは重要である。ジュニア救命士講習の開催を。**

答 仙南地域広域行政事務組合に、ジュニア救命士制度の導入が可能か申し入れをしたい。

白内恵美子　議員

問 **子ども食堂の運営には安定的に使用できる場所の確保が必要。町が会場使用料の支援を。**

答 行政区集会所使用料や賠償責任保険料を一部助成し、社会教育施設は全額免除としたい。

問 **図書館建設基本構想策定着手のため、計画段階から将来の図書館長の招聘を。**

答 総合体育館着工後、図書館建設の方向が確認されたときに、館長の招聘も検討していく。

我妻弘国　議員

問 **中央特殊興業では依然、油処理の悪臭が発生している。一番は従業員の健康問題では。**

答 安全操業解決のために当該工場、隣接の６社、町と県とで協議会をつくり解決を目指す。

問 **船岡城址公園における山林火災防御訓練で、どのような問題点をチェックできたか。**

答 無線連絡の放水確認やポンプ圧力調整、ホースの亀裂などに問題あり。来年も実施予定。

議会からの指摘事項（所管事務調査報告書）

常任委員会リポート

各常任委員会は各課の仕事を調査しています。

総務常任委員会

平成28年10月11日～12日

仙南クリーンセンター

調査内容

①公共施設等総合管理計画策定の進捗状況について
②コンビニ収納の状況について
③仙南クリーンセンターについて
④地方創生（柴田町まち・ひと・しごと創生総合戦略）の推進状況について
⑤町の情報発信について

調査結果

《財政課》●公共施設等総合管理計画は、計画素案策定後、速やかに、中学校区単位で意見交換会を開くこと。

《税務課》●今年度から導入したコンビニ収納により、期限内納付が増加しているので、今後も周知に努めること。また、口座振替の利便性についても周知に努めること。

《まちづくり政策課》●町ホームページは各課の協力を得て、常に最新の情報を提供すること。

文教厚生常任委員会

平成28年10月17日～18日、11月9日

調査内容

①子育て支援センター、町内児童館の管理運営状況及び課題・要望について
②公民館の管理運営状況及び課題・要望について
③柴田町スポーツ推進計画について

調査結果

《子ども家庭課》●子育て支援センター、児童館は年々利用者がふえ目的に沿った運営ができていると思われる。特に西住児童館は、幼児型児童館を廃止するにあたり、チラシを配るなど、周知・説明に努めたことにより、地域との連携が図られている。今後も利用しやすい環境づくりに努められたい。

《生涯学習課》●各公民館や農村環境改善センターにおいて、施設の計画的な整備を行うこと。

《スポーツ振興課》●柴田町スポーツ推進計画は、11年間の長期計画であるので、年度ごとの検証を行うこと。

西住児童館

産業建設常任委員会

平成28年10月27日～28日

西住地区

調査内容

①西住地区の側溝、用水状況について
②船岡城址公園遊歩道の整備状況について
③下名生・三名生堀の状況について
④五間堀・関根堀の浚渫(しゅんせつ)箇所について
⑤太陽の村の整備状況について
⑥観光物産協会の現状について

調査結果

《都市建設課》●三名生堀などの、水害が発生する地域については、強制排水のためのポンプを設置すること。
●浚渫については、町が管理する部分は、計画を立てて行うこと。県が管理する部分は、浚渫の要望を行うこと。

《農政課》●太陽の村のふわふわドームについては、降雨や夜露、霜対策のためにシートの対策をとること。また、安全安心のため、監視カメラを設置し、併せてカメラが描かれた看板、エリア表示案内板も設置すること。
●太陽の村に、雨の日も子どもたちが屋内で遊べる場所を検討されたい。

活動報告

委員会活動のさらなる活性化を図るため、今年度より各常任委員会では、テーマを定め活動しています。今年度の活動の結果と反省についてまとめましたので報告します。

総務常任委員会

活動テーマ

将来を見据えたまちづくりへ向けての検証

「将来を見据えたまちづくりへ向けての検証」をテーマとして左記の事項について調査を行いました。

特に昨年度町長へ提言書を提出した※公共施設等総合管理計画を重点的に調査を実施しました。本計画の調査は次年度以降も継続的に必要だと考えます。

全体としては、「町ホームページの定期的な更新」など調査時に提言した事項が成果として表れているものもあり一定の成果がみられました。公共施設等総合管理計画や局地冠水対策マニュアルなど全議員で情報を共有すべき調査事項も多く、委員会として全議員への情報提供を図る必要がありました。

調査事項

＊公共施設等総合管理計画策定の進捗状況について
＊仙南地域広域行政事務組合滞納整理課について
＊コンビニ収納の状況について
＊柴田斎苑建替事業整備計画について
＊仙南クリーンセンターについて
＊空き家・空き地対策について
＊地方創生の推進状況について
＊町の情報発信について
＊防災対策について

※**公共施設等総合管理計画**　地方公共団体が所有する公共施設等を総合的かつ計画的に管理する計画

文教厚生常任委員会

活動テーマ

スポーツ振興について

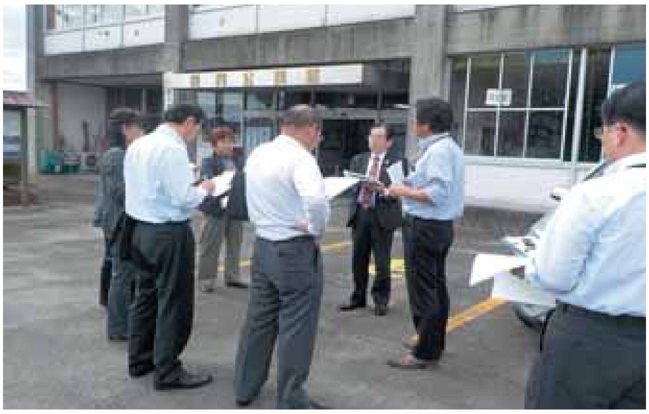
活動テーマを「スポーツ振興について」とし、町内体育施設の運営状況について重点的に調査を行いました。また、町内児童福祉施設や公民館などの調査も行いました。

町内の体育施設については管理、使用状況の実態を十分に調査できましたが、さらに先進地の調査を行うことが必要でした。

前年度は「健康づくり」をテーマに先進地視察をはじめとした調査研究を行いましたが、今年度は新たなテーマにしたこともあり十分な調査研究に至りませんでした。委員の任期である2年間は、同一テーマで活動することが必要だと感じました。

調査事項

＊第一幼稚園・むつみ学園・放課後児童クラブ・子育て支援センター・児童館・公民館・体育施設の管理運営状況
＊第一幼稚園・むつみ学園・放課後児童クラブ・子育て支援センター・児童館・公民館からの課題及び要望について
＊ 柴田町スポーツ推進計画について



常任委員会28年度

調査事項

＊鷺沼排水区雨水整備事業について
＊剣水地区の冠水被害箇所について
＊公共施設災害復旧工事箇所について
＊西住地区の側溝、用水状況について
＊船岡城址公園・太陽の村の整備状況について
＊下名生・三名生堀の状況について
＊五間堀・関根堀の浚渫箇所について
＊観光物産協会の現状について
＊水道会計の今後の見通しについて

産業建設 常任委員会

活動テーマ

「水害対策の強化」「太陽の村整備」「水道事業会計の見直し」

「水害対策の強化」「太陽の村整備」「水道事業会計の見直し」をメインテーマとして左記のとおり調査を行いました。

重点調査事項については予定どおり調査を行うことができました。その中で27年９月に発生した台風18号による豪雨災害の被災箇所の調査なども行いました。また、鷺沼排水区雨水整備事業における調整池への監視カメラの設置、太陽の村でのふわふわドームのシート対策や雨天時の遊び場の検討など有効な提言を行うことができました。

広報 常任委員会

主たる活動として「議会だより」を年４回発行しました。

研修会などに積極的に参加して研鑽しながら、可読性の高い紙面づくりに取り組みました。

また、宮城県町村議会広報選考会や町村議会広報全国コンクールにも応募しました。

29年度中に議会中継の実施が予定されております。今後も蓄積された知識や経験を生かして広報活動の充実に取り組みます。

議会運営 委員会

「議会基本条例」の検証作業に基づき策定した、※議会行動計画に盛り込まれた項目の実施に主体的に取り組み、議会活動の促進に努めました。

主な内容として「情報公開のさらなる充実」があり、インターネット議会中継実施に向けた準備などを進めました。議会中継は来年度中の実施を予定しています。

また、２回目となる議会基本条例の検証を実施、新たな課題の抽出にも取り組んでいるところです。行動計画にもまだ実施途中の項目や未実施の項目もあるため、今後も議会運営委員会が中心となり改革に向け取り組んでいきます。

※議会行動計画　より住民に開かれた議会を目指すための指針となる計画

？なった

テーマ：健康づくりポイント事業

　常任委員会での指摘事項や議員が一般質問で行う提言が町にどう反映されているかを、「追跡」というテーマで取り上げます。
　今回は、平成26年度から始まった「しばた健康づくりポイント事業」を特集します。

　しばた健康づくりポイント事業は、町民が健康づくり活動に積極的に取り組むことができるよう、健康づくり事業に参加した方にポイントを加算し、10ポイントで柴田スタンプ会500円商品券と交換できる事業です。
　26年にスタートし2年が経過しました。今号では、その実績を紹介し、どのように進んでいるかを特集します。
　25年5月文教厚生常任委員会では、各種健康診査受診率の向上について指摘し、9月会議の一般質問では健康マイレージの提案がありました。26年4月から「しばた健康づくりポイント事業」を導入すると回答があり、47事業でスタートしました。
　文教厚生常任委員会は、健康づくりポイント事業が開始したことから、27年9月に、新潟県糸魚川市「ザ・健康チャレンジ事業、健康ポイントラリー10」などや新潟県見附市「スマートウエルネスみつけ」事業の行政視察を行いました。委員会では、企業と連携し、受診率向上と健康とまちづくりの要素を加えた取り組みを進めるよう提言しています。
　28年度の対象事業は44事業であり、11月末現在の参加申込者数は1千163人で町民の3％になります。ポイント交換者は419人です。

健康づくりポイント事業までの経緯

平成25年5月　文教厚生常任委員会
各種健康診査の受診率向上を指摘

↓

平成25年9月　一般質問
健康マイレージを導入しては

↓

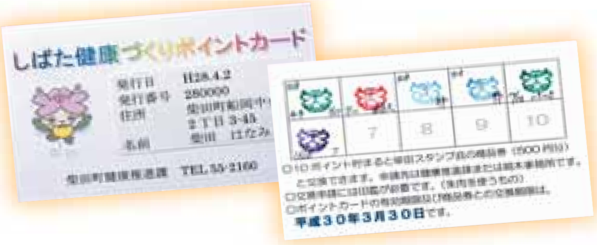
平成26年4月より健康づくりポイント制度を導入
26年度事業　47事業でスタート

↓

27年度　51事業　　**28年度**　44事業

■28年度　健康づくりポイント対象事業

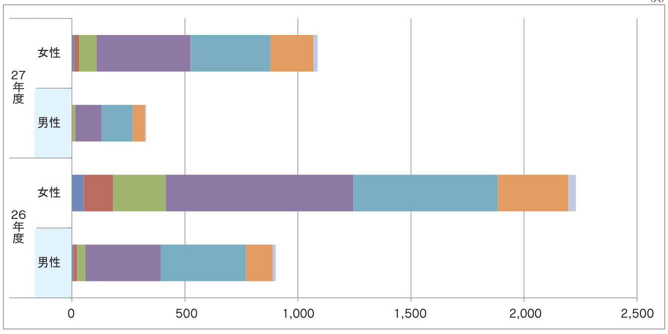
健康推進課　23事業	スポーツ振興課　4事業
各種特定健康診査など7事業	水中トレーニング教室など2事業
各種がん検診など6事業	町民ラジオ体操のつどい
いきいきお茶っこ会	行政区対抗玉入れ大会
健康教育・出前講座・成人歯科相談	**各生涯学習センター　10事業**
心の健康づくり講演会	豊齢者教室（槻木・船迫）
生活習慣病予防運動教室など3事業	お茶のまねぇすか（槻木）
しばた得！トク健康教室	初歩のシルバーダンス教室（槻木）
運動普及講座	四季の里山ハイキング（槻木）
しばた健康まつり2016	地域デビュー・生きがい（槻木）
福祉課　6事業	団塊世代の元気塾（船岡）
介護予防教室など4事業	心と体のリフレッシュ教室（船岡）
自立者支援通所事業「春風」	いきいき教室（船岡）
介護予防推進大会	のんびりゆったり初心者向けの健康講座（船迫）
	まちづくり政策課
	フットパスウォーク



しばた健康まつり2016（柴田町保健センター）

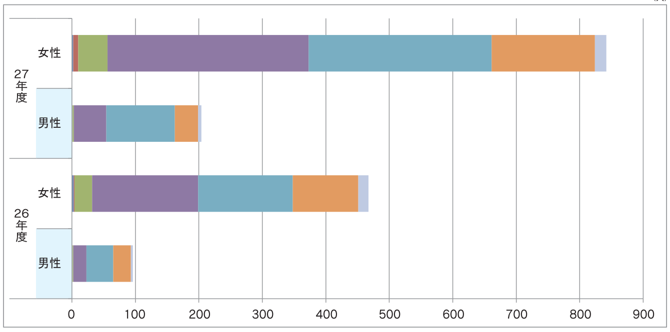
「追跡」あれはどう

■健康づくりポイント事業　参加者



		30歳代以下	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上	計
27年度	女性	11	20	78	416	352	192	18	1,087
	男性	1	3	12	116	137	55	5	329
26年度	女性	52	131	232	830	640	310	34	2,229
	男性	6	18	36	333	378	117	14	902

■健康づくりポイント事業　交換者



		30歳代以下	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上	計
27年度	女性	2	8	46	317	288	163	18	842
	男性	0	0	3	51	108	37	5	204
26年度	女性	3	1	28	167	149	103	16	467
	男性	0	0	2	21	42	28	3	96

27年度発行カード交換者　314人
26年度発行カード交換者　732人

■健康づくりポイント事業費の推移

		平成26年度決算	平成27年度決算	平成28年度予算
事業費		535,997円	676,520円	1,033,000円
（内訳）	報償費（交換者数）	281,500円（563人分）	523,000円（1,046人分）	800,000円（1,600人見込み）
	消耗品費	254,497円	153,520円	233,000円

いきいきお茶っこ会（槻木生涯学習センター）

健康推進課　課長　佐藤　浩美

健康づくりに取り組むきっかけとなるように開始した健康づくりポイント事業が、3年目となりました。10ポイント貯めるために、2年かかる方が多数の現状です。

健康に意識を持ち、次は意識を行動化することが健康増進につながります。

今後、新たに健康づくりの習慣化を応援するためのポイント事業を検討しています。生涯かかわる健康、自分の心と身体の声に耳を傾けていきたいものです。

利用者の一言

茶屋場　滋さん

◎「歩こうざ」などに妻と一緒に参加しています。現在4枚目にチャレンジ中です。参加することに意義があり、健康に対するきっかけづくりが大切だと思います。

船岡在中　Y・Oさん

◎がん検診や健康講座に参加しています。特にダンベル活動など参加できる事業が増えるとうれしいです。申請方法の簡素化をお願いします。

船岡在中　C・Tさん

◎健康に良いことから事業に参加しています。現在2枚目です。事業に参加することで友達も増え、情報交換の場にもなっています。

取材にご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。

議会から

3年を経過した健康づくりポイント事業ですが、今後の課題は、若い人及び男性の参加率を上げること。議会としても経過を見守っていきます。

あなたの一言

佐々木（ささき） 綾子（あやこ） さん
（船岡東神山前 在住）

●柴田町に住んで感じたこと

引っ越してきた当時は、身内や知り合いのいない不安なスタートでしたが、ご近所の方々や子どもを通じて知り合えた皆さんに温かく迎えていただきました。公園も多く、子どもセンターなどの施設も充実していて、地域と一緒に子育てができるありがたさを感じています。柴田町を選んで良かったと実感しています。

●柴田町の好きなところは

船岡城址公園やイルミネーション、船岡駐屯地や仙台大学と連携して楽しめるお祭りやイベントが充実しているところが好きです。また、観音様や太陽の村からの景色は心癒されます。

●町に何を望みますか

今後も、柴田町の魅力を増すプランの実現をしていただきたいと思います。

●議会だよりを読んでいますか

身近に知り合いの議員の方がいるので、目をとおしています。興味があり、目に留まったところは、熟読するようにしています。

●議会・議員に何を望みますか

今後とも、町民の生の声を聞いていただきたいと思います。そして、幅広い世代から愛され、より良い柴田町になる提案を期待します。

■議会から一言

若い人はもちろんのこと、幅広い世代からの声に耳を傾け、魅力あるまちづくりに努力していきます。

未来へ向けて

表紙について

12月3日から1月7日まで、ＪＲ槻木駅前広場で、「メタセコイアの奇跡！光り輝け槻木駅」が開催されました。槻木の将来を担う子どもたちに夢を与え、地域の活性化を図る目的で行われているものです。イルミネーションの輝きは、地域の人々や実行委員会の皆さんの心の輝きそのものです。

編集後記

議会だよりは、議員自ら原稿を書き、編集作業をしています。4～5日間の編集作業、その後校正、最終校正を行っています。常に「読みやすい」「見やすい」「分かりやすい」をモットーにこの4年間紙面作りに取り組んできました。今号はいかがでしたでしょうか。

今の編集委員7人では、最後の編集作業となります。今号も最後までお読みいただき、ありがとうございます。今後ともしばた議会だよりをよろしくお願いいたします。

議会広報常任副委員長　平間　奈緒美

ぜひ、議会の傍聴を !! お待ちしています！

2月会議は
2月20日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は
2月20日(月)・21日(火)・22日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせください。

町ホームページに 本会議審議等結果 各種会議の出欠状況 を掲載

町ホームページ内、「柴田町議会」の中の「議会のうごき」に、議員（委員）の出欠状況も掲載しています。

柴田町議会　検索　柴田町議会のホームページもご覧ください

このしばた議会だより155号は、約15,900部作成しています。1部当たりの経費は約31円です。

発行　宮城県柴田町議会　編集　柴田町議会広報常任委員会　宮城県柴田郡柴田町船岡中央二丁目3番45号　☎（〇二二四）五五－二一三六　印刷　㈱伊藤印刷